

東京で「たくあしくん」

9月17日、両備グループのハロー・トーキョーさんにオリジン関連会社のタクシーアシストの運賃先決め注文支援サービス「たくあしくん」を東京で初めて採用して頂いた。自分にとっては非常に感慨深いし、嬉しい。

このサービスは一昨年の4月に東京のあるタクシー会社で始められることになっていったが、我々の力不足の為に、業界の人々にその趣旨をよく理解してもらえず、ペンディングになってしまった。このサービスは上限運賃のメータ金額に基づき、2点間の距離に、時間係数をかけた金額を事前決定運賃とし、利用者の「降りてみなければわからない」という不満に応えようとしたのだが、「割引」「相対」を許す脱法の仕組みとして受け取られてしまった。

タクシー業界を顧客とするオリジンの関連会社として、当然にもタクシーアシストはそのような事が本意

ではなく、利用者の不満に
 応え、需要を増やすための
 仕組みの一つとして、コン
 ピュータによる事前運賃を
 考えたのである。そしてそ
 の順法性を確認するために、
 2年近く国土交通省の旅行
 課、旅客課に相談をし、東
 京都知事登録旅行業の資格
 を得て、メータ運賃で試算
 された運賃で手配旅行とし
 て受け、タクシー事業者に
 はお客様を貸切運賃で輸送
 して頂き、その差額を手配
 手数料として補填、相殺す
 るというスキームを考えた。
 そしてケースによっては
 生じる時間貸切とメータ機
 算定による大きな誤差につ
 いては「手前貸切」という
 保険の考え方を採用した。
 そして旅客課からは一昨年
 3月に、全国の支局に「こ
 のスキームは非合法ではな
 い」という連絡を出したと
 聞いている。だからこそ我々
 もこのサービスに踏み込む
 ことができた。しかしこの
 スキームを考える経緯の中
 で確かにある危惧が生じて
 いた。つまり時間係数も考
 慮したメータ運賃による試
 算ではなく、恣意的な運賃

清野吉光氏のコラム 第24回

団塊 耕 志 録

清野 吉光(きよの よしみつ) 略歴

1950年 長野県四賀村生まれ、松本深志高校卒業。1968年上智大学外国学部ロシア語科入学、1971年 中退。その後印刷関係など様々な職業に従事。1976年清水市の日の丸交通入社。1980年静岡市内の事務機器センターに入社。1982年システムオリジンを仲間と創業、専務取締役。1992年代表取締役社長就任。2000年㈱タクシーサイト創立、現取締役会長。2007年タクシーアシスト代表取締役社長に新任。現在に至る。



「時代の加護」

設定もこのスキームでは成り立つことにならな
 る。つまり「割引」や「相
 対」も運用する人によ
 っては、成り立つこと
 になる。

我々は同一地域同一
 運賃かつ上限運賃を採
 用しており、利用者に
 提供する利便は「先決め」
 の一点であり、また利用者
 に付与するポイントも事業
 者負担で無く、弊社負担で
 あり、その意味で運賃競争
 は無い。しかし利用者の「先
 決め」というニーズを現行
 のルールで仕組み付けよう
 とすれば運用次第によつて
 はメータ運賃を壊すことにな
 ってしまふ。この矛盾を
 如何に止揚するのだが、や
 はりルールを付け加え、事
 前の経路計算(×時間係数)
 による運賃決定を認め、な
 おかつその算定根拠を認可
 メータ運賃に準拠すると決
 める事ではないだろうか？

今回ハロー・トーキョー
 さんがタクシーアシストの
 「たくあしくん」を採用され
 たのは、もちろん割引によ
 る顧客の囲いこみの為では
 なく、羽田定額制タクシー

が適用されない6つの対象
 外地区の顧客への先決め定
 額の利便性の為である。

今回のタクシーアシスト
 の「たくあしくん」サービ
 スの東京での開始にあたつ
 て、行政がどのような判断
 をするか、もちろん私には
 判らないが、タクシーアシ
 ストはメータ運賃を遵守し、
 お客様の利便と業界の秩序
 を遵守する道を目指すこと
 を改めてお伝えしておきた
 い。また乗務員さんにとつ
 てもメータ機を挟んで顧客
 と敵対(?)するような車
 内の環境を改善し、相互に
 安全、安心、迅速な運行を
 担保する道につながる為の
 一助となるのではないかと
 思う。

今回の特措法施行の中で、
 減車、休車が進み「適正化」
 は実現しつつあるが、一方





で「活性化」についてはまだまだ課題があると思う。顧客の利便性を向上し、需要を増やし、業界を活性化する方法はいろいろあると思うが、是非この「運賃先決め」のサービスメニューをそのひとつとして業界で採用してくれることを願わずにいられない。

「大いなる企て」

9月29日大阪、11月9日は東京で、恒例のオリジンのセミナー展示会を開催する。今年は弊社上西経営サポート事業部長のコンセプトによる「乗務員評価システム」のプレゼンが予定されているが、前座で私が『近未来のユビキタスタクシー』（大いなる企て）と称した40分程のプレゼンをやらせていただく。相も変わらずユビキタスタクシーなのだが、

今回は副題に「大いなる企て」等と言う大袈裟な副題を付けさせて頂いた。自分でも大袈裟な！と思うのだが、思い付いてしまったのだから仕方が無い…。

「近未来」というのは便利な言葉で、「近未来」であるが故に多少現実離れしてても許される、が、また「近未来」であるが故に「現実」に囚われずに自由な発想が可能とも言える。今回の副題「大いなる企て」は堺屋太一氏の著書『巨いなる企て』から来ている。石田光成が企画した関が原の戦いを題材としており、縁起が悪いと思いつつ、つい副題にしてしまった。

というのはタクシー業界の未来のためには、結果を出すのは非常に困難だなど思いつつ、七つの大きな分野での改革（したがって大いなる企て）が必要だと思うからである。そしてこの7つの改革を貫く環（キー）が「ユビキタスタクシー」だと思う。思わせ振りに7つの改革などと言ってないで早く内容を言え！と叱られそうだが…

課題となる七大大分野

- ① CRM（顧客管理） 特定多数の顧客の掌握
- ② SCM（供給の組織化） ロングテールな供給力の組織化、見える化、活性化
- ③ NETWORK（連携） 地域全体最適マッチング仕組みと協業化
- ④ CONTENTS（サービスメニュー） 移動の質
- ⑤ PRICE（価格体系） 価格体系の多様化
- ⑥ VEHICLE（車両） ユニバーサル化とEV化、車載機器のユビキタス化
- ⑦ MANAGEMENT（経営） 経営の顧客志向化と生産性

なぜいちいち横文字を使うのだと非難されそうだが、あえて一般の産業で使われている用語で考えてみようと思った次第。自分でも未消化の用語で申し訳ないが、言いたい趣旨はわかって貰えるのではないだろうか？しかし問題はこうした7つのテーマをタクシー業界でいざ実現しようとする

相互に矛盾したり、また現時点では非現実的に思えたりすることに直面し、士気が阻喪することである。願望も含めて強調したい事は、ユビキタス時代とユビキタスタクシーと個々人の持つユビキタス端末がそうした隘路を突破していく環（キー）になるのではないかと。今までのタクシー業界では不可能だった事が、新しい時代と技術とマインドでは可能になる。もちろん自動的に可能になるのではなく、このユビキタスという時代の武器を使って7つの分野の改革を押し進める勇気さえあればという事だが…。

もちろん石田光成の「大いなる企て」が失敗したように、この企てが失敗する可能性は大いにある。しかしいま憂うべきは未来に向かってこの夫々の「大いなる企て」自体が見当たらない事が問題だと思われる。一人一人が自分の「大いなる企て」を持ち、そして「時代の加護」を信じる事から始めましょう！
(2010年9月23日記)

プリンター一体型業務用アルコール測定器

ALC-miniⅢ

¥83,000より

アルコールだけに反応 音声ガイドで簡単操作

コンパクトなボディにプリンタ機能搭載！
吹き込む・測定する・記録する、の
カンタン3ステップアルコール測定！

息を吹いて下さい。

2011～2012年にかけて、全ての事業者はアルコール測定器の使用が義務付けられます。
(事業用自動車総合安全プラン2009)

義務化に向けて
備えの1台です！

※表示金額には消費税、保守料等は含まれておりません。

お申し込みお問い合わせ **株式会社 システムオリジン** Tel.03-3834-8352

関東支店営業本部 〒101-0021 東京都千代田区外神田 5-3-4 田中ビル7F 拠点/北海道・東北・関東・甲信越・東海・名古屋・関西・中国・九州

製造元 **TD 東海電子株式会社**
http://www.tokai-denshi.co.jp